

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-2-16・17 事業名：鳥の海多目的広場整備事業		
事業費：総額 416,996 千円 国費 333,597 千円 （内訳：設計費 10,492 千円、工事費 406,504 千円）		
事業期間：平成 29 年度～令和元年度		
事業目的：東日本大震災で被災した公園等を移転集約し、防災集団移転者はもとより、町民全体の健康づくりやイベント開催などに幅広く活用し、コミュニティ形成を図ることを目的に多目的広場の整備を行う。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果 広場整備 A=5.61ha、高木植栽 20 本、低木植栽 7,710 本、張芝 A=42,590 m ² 、アスファルト舗装（車道）A=7,050 m ² 、アスファルト舗装（歩道）A=1,370 m ² 、シェルター設置 4 基、テーブルベンチ 12 基、トイレ 1 基、管理棟（木造平屋建て）A=165.62 m ²		
<平成 29～30 年度> ・管理棟実施設計 3,456 千円 ・多目的広場実施設計 4,561 千円 <平成 30～令和元年度> ・広場整備工事 357,347 千円 ・管理棟建築工事 51,632 千円		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○当該事業で整備した多目的広場は、東日本大震災で被災した公園等を移転集約した広場として整備し、防災集団移転者はもとより、町民全体の健康づくりやイベント開催などにより、幅広くコミュニティの形成に活用されている。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○工事費積算については、土木工事標準積算基準などの適切な算定根拠に基づき行われている。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定事業期間	実際の事業期間
調査・測量・設計	平成29年11月～平成30年 5月	平成29年11月～平成30年 5月
工事	平成31年 3月～令和 2年 3月	平成31年 3月～令和 2年 3月
⇒ 想定事業期間内で整備を終えており、事業手法として妥当であったと判断する。		
事業担当部局 亘理町生涯学習課スポーツ推進班 電話番号：0223-34-0511		